

定例教育委員会（7 月度）議事録（要点筆記）

● 日時及び開催場所に係る事項

開催日時 平成 29 年 7 月 26 日（水）午後 3 時～

開催場所 裾野市役所 402 会議室

1 開会および閉会に関する事項

(1) 開会

風間教育長あいさつ

今週の月曜日に 1 学期の終業式があり、翌日より小中学校は夏休みに入りました。今年の夏休みは、8 月 29 日までとなり土日を含め 36 日間です。各学校では、夏休みに入る前に、それぞれの学校で準備を整えており、小学校では衣服を付けたままの水泳で安全指導をした学校や生活指導、生徒指導の面から遊ぶ時にも気を付けなければいけないと学校活動以外での活動について行った学校、夏休みの学習に活かしてはとの意図から昆虫や魚といった生き物についての学習を取り入れた学校がありました。

一方、中学校では中体連の県大会や吹奏楽の大会の時期になります。生徒指導では、安全面から特に自転車の乗り方について指導した学校がありました。このほか、自主的な学習の材料にとの主旨から租税教室や総合的な学習の時間と絡めて夏休みに入る前に取り組んだ学校もありました。

中学校 3 年生にとりましては、進路指導の大事な時期にあたるため深良中学校では、校舎の改修工事で騒音や振動の影響が懸念されることからの面接会場を小学校に変更し、生徒や保護者に配慮したとの報告を受けています。

教育委員会としましては、英語学習の充実や本日から各中学の代表生徒が広島県を訪問していますが、今後も引き続きこのような事業を進めていきたいと思っています。また、事故が無く児童生徒が無事に夏休みを過ごしてくれればと願っている次第です。今後も学校生活につきましてご報告したいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

前回議事録の承認

前回議事録承認 風間教育長及び庄司委員署名

議事録作成者の指名

教育長より教育総務課 二ノ宮貴之を指名

議事録署名人の決定

風間教育長及び杉田委員

(2) 閉会

会議終了により閉会（午後 4 時 40 閉会）

2 出席者の氏名

教育長 風間忠純 教育委員 眞田平芳 教育委員 桃井昭一
教育委員 渡邊すみ枝 教育委員 杉田博道

3 教育長、委員および傍聴人を除く外、議場に出席したものの氏名

教育部長 杉山善彦 教育総務課長 鈴木則和 学校教育課長 朝倉和也
生涯学習課長 木原慎也 鈴木図書館長 芹澤泰広
健康福祉部子ども保育課長 篠塚俊一
教育総務課 二ノ宮貴之・永長璃子

4 教育長その他の報告の要旨

◇教育長報告（詳細は配布資料による）

- 6/30 静東教育事務所管内教育長連絡協議会
- ・本年度の教員採用試験について
 - ・新任校長校訪問について
 - ・教職員人事評価制度について
 - ・多忙化解消について
- 7/3 市内校長会
- ・特別支援教育の分科会記録を紹介、色々な立場から考えること
(保護者への対応・他の子どもとの関係・個別の学習支援計画・関係機関との連携・子どもに自己肯定感を育てる 等)
- 7/6 地区採択連絡協議会
- ・平成30年度から小学校で使用する道徳科の教科書の審査
- 7/13 総合教育会議
- ・会議で出された意見を取り入れてもらうよう進めていきたい
- 7/19 コンプライアンス外部評価委員会
- ・外部の委員から不祥事が続いたため、その対策に関する意見

◇部長報告

総合教育会議後の副市長ヒアリングについて

- ・会議で出された教育委員からの意見に対する対応
- ・校舎の耐震化を進めること
- ・ファシリティマネジメントの視点と放課後児童室への対応

大阪泉佐野市との人的交流事業の計画について

- ・7/31～8/3 運動公園陸上競技場をメイン会場に中学校のサッカー部を通じた交流事業を計画

◇出席課長より報告

教育総務課長
学校教育課長

夏季休暇中に施工する小中学校の大規模工事について
小中学校の夏季休暇について
中学校総合体育大会県大会について

	2015年平和都市宣言による広島訪問事業について
	・各中学校より2名、計10名が参加
生涯学習課長	7/1 市立水泳場安全祈願祭、プール開き
	7/5 青少年の非行被害防止キャンペーンの開催
	7/16 ワールドラグビーリミテットの開催
	7/21 夏の一斉補導の実施
	7/22 御宿新田区と共催でサイエンス教室を開催
	7/31 東京五輪・パラリンピック3年前、自転車競技イベント フラッグツアー
	7/31～8/3 大阪泉佐野市との交流事業
	8/2～8/6 日本サッカー協会主催 12歳以下のサッカー選手 の研修会開催
鈴木図書館長	7/22～8/31 あいとへいわ展の開催
	8/9～8/31 広島を訪問した中学生の感想文、駿東文園の展示
	8/26 夜のおはなし会の開催
子ども保育課長	公立幼稚園の夏休み 7/22～8/31 41日間

<質疑・意見等>

委員

先程の報告でファシリティマネジメントに関する内容がありました。昨年の総合教育会議の際に、公共施設の床面積を今後30年間で30%削減するとの説明を受けました。教育長報告の3ページには、静東教育事務所管内の各市町の小学校・中学校の児童生徒数や学校数が記載されていますが、近隣の御殿場市や長泉町と比較しますと、小学校では御殿場市は10校で児童が5,000人程、裾野市は9校で2,900人程、長泉町は3校で2,700人程です。これを単純に比較しますと裾野市は1校当たりの児童数が少ないということになります。

しかし、総合教育会議の際には、学校は地域の核となる施設といった話をしていましたが、数値だけを見せられてしまうと、統廃合について将来的に言われる恐れがあるのではないかと思います。数値だけで単純に判断されてしまい、そういう機運になってしまうのではないかということが懸念されます。

事務局

実際に市議会では、ファシリティマネジメントの関係から個別の学校に対してどうかという意見もあることは事実です。ただし、以前に受けた質問に対する答弁にもありましたが、その一つの指標として複式学級になった場合を見据えていく必要があると思います。

また、只今地域の核になるという表現をいただきましたが、学校には、そのような位置付けもあるということが、総合教育会議の場での発言がありましたので、少し安心したところはあるのですが、適正規模がどのくらいかと数字も以前に比べコンパクトになっています。それに対しては、昔からの集落の配置や位置的なものもありますが、単純に比較してしまうと、近隣市町に比べ1校当たりの児童生徒数が少ないことは事実になります。

教育長

ファシリティマネジメントをどういう観点から捉えるかという

話ですが、それでは学校の数が少なければ良いのかということになりますと、この数値ではという話になるのかも思います。しかし、学校については、そのような観点だけではないと思っております。先程の話しにもありましたが、一つは五つの地区がそれぞれ独立して市を創っているといった裾野市特有の事情があるため、この地区を跨いだ形での学校統合は、流れとしては非常に創りにくく、むしろ地区の中で学校を大事にしたいという気持ちの方が勝っているというようなどころがあります。したがって、学校統合自体については、教育的な感覚からは、落ち着いて、もう少しゆっくり、じっくり考えることとして、また、もう一つにはまちづくりとの関連もありますので、懇談会をそれぞれの地区で行いましたが、それぞれの地区でまち起こしを進めながら人口の増加を図っていきたいということは、どの地区も一致していました。そういった動きも冷静に見極め、判断していかなければと思います。決して小さければ良しとするわけではありませんが、小さい学校で丁寧な教育をする効果というものは、特に小学校では大事なのではないかと思います。

ただし、ファシリティマネジメントの力といいますか、説得力というものは確かにありますが、それだけではないと思っております。

委員 図書館の件ですが、駿東文園はすごく歴史がある中で、こういった展示は、今回初めてになりますか。

事務局 昨年も行っています。あいとへいわ展の一角にコーナーを設け行いました。

委員 親子で掲載されている方もいて、昔の駿東文園を見ますと、言葉遣いや、子ども達の作文の内容もすごく歴史があり、すごく重みがあるといいますか、時代時代の子どもの様子分かり、すごく良い展示であると思っております。親世代の方にもアピールして、見に来ていただければと思います。

委員 スポーツ振興の一貫といいますか、スポーツをする方をできるだけ多く集めたいという話しを聞いております。サッカーや駅伝の関係等、そういう人達を大勢これから裾野に来て貰いたいということで、競技施設の検討や宿泊施設の検討をしているようですが、どうなっているでしょうか。

事務局 陸上の合宿として裾野市をメッカにしたいというところを進めているのですが、まだ少しずつ芽が出つつあるといった段階です。市町駅伝で裾野市の監督を務めている職員が生涯学習課にありまして、専属で今のような仕事を担当していただいております。ゴルフ場の跡地を高地トレーニングの場と利用できないかや宿泊場所としてこの施設はといった話しを進めているところです。そういった中で、今年の夏には何校かの高校がテスト的に使っただけという話しを確認しております。

事務局 県内の高校、8校の陸上部が合宿に来ると聞いています。

事務局 それ以外に民間のランナーの同好会のようなことをやっている企業もあり、そのようなどころとも話しを進めています。

事務局 今、駅伝監督の話が出ましたが、陸上のスペシャリストですの

で、市の全体の中で陸上のトレーニングとして使える場所がないかということ、あとは宿泊施設、色々な部分でまずは素材集め、下調べをして、その中で今年具体化したものが、先程話しのありました、ゴルフ場の跡地の活用で、適度な傾斜があり草地であることからトレーニングする上では膝にも優しく、そして負荷も掛けやすいということで、それを素材にして、かつ標高がちょうどトレーニングをするに当たって手頃な高さでありますので、それらを起点にして市内の宿泊所とタイアップしながらできないかということです。ただし、それだけですと単に市内の企業とのパイプ役で終わってしまいますので、スポーツツーリズムという観点からも色々なスポーツを通して、裾野に来てもらいたいということがあります。したがって、単純に企業との仲介役ではなく、それぞれの分野の方々を集め、協議会といった何か形をつくり、市全体で取り組んでいく、そういう組織づくりを今後していかなければと思っています。まずは、その足掛かりとしまして、只今説明したことが始まります。

委員 人を集めるには最高に良い機会だと思いますので、是非進めてください。

5 報告案件

(1) 報告1 裾野市育英奨学生選考委員の委嘱について

説明者：学校教育課長

<質疑・意見等>

特になし

(2) 報告2 裾野市学校給食センター運営委員の委嘱及び任命について

説明者：教育総務課長

<質疑・意見等>

特になし

(3) 報告3 裾野市青少年補導センター補導員補欠補導員の委嘱及び任命について

説明者：生涯学習課長

<質疑・意見等>

特になし

6 議題および議事の概要、質問または討論をした者の氏名および要旨

(1) 第27号議案 裾野市立鈴木図書館条例施行規則の全部を改正することについて

説明者：鈴木図書館長

<質疑・意見等>

委員 規則から外しますが、利用できる時間は9時から17時までと、これまでと変わらないのですか。

事務局 文化センター図書室の利用時間につきましては、条例に移行しておりますが、利用時間は9時から17時で変わりません。

教育長 第27号議案について承認いただけますか。
委員 承認。

(2) 第28号議案 裾野市生涯学習センター条例施行規則の一部改正について
説明者：生涯学習課長

<質疑・意見等>

委員 指定管理者制度を導入するメリットはどのような点なのでしょう
うか。

事務局 メリットとしましては、コストの面もありますが、それぞれが隣接する施設となりますので、そこでの相乗効果を得たいというところがあります。

現在、文化センターと生涯学習センターは、施設の目的はそれぞれ異なりますが、似た形態の部屋がいくつかあります。そこを一つの管理者が運営することにより、例えばこちらの部屋が予約で埋まっているので、別のこちらの部屋を紹介することができることや運営ができることになると思います。また、民間の運営を入れることにより、今まで我々が気付かなかないような部分や講座の運営等もお願いしたいと思っています。そこを自主事業という形で実施することで、市民サービスの向上に繋がればと考えています。

教育長 第28号議案について承認いただけますか。
委員 承認。

(3) 第29号議案 平成30・31年度使用の小学校用「特別な教科 道徳」の教科用図書
の採択について

説明者：学校教育課長

<質疑・意見等>

委員 何社くらいの教科書があるのですか。

教育長 8社です。図書館で展示会を開き、全社の教科書が確認できる期間を設けました。また、その際に教科書を確認された方へのアンケートも行い、研究委員会では、そのアンケートの内容も含め審査をしました。

教育長 第 29 号議案について承認いただけますか。
委員 承認。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条第 7 項ただし書きに基づき、第 30 号議案は非公開とした。

- (1) 第 30 号議案 要保護・準要保護について
説明者：教育総務課

7 議決事項（議案書は別紙による）

議案番号	内 容	議決結果	議決日
第 27 号議案	裾野市立鈴木図書館条例施行規則の全部を改正することについて	承認	平成 29 年 7 月 26 日
第 28 号議案	裾野市生涯学習センター条例施行規則の一部改正について	承認	平成 29 年 7 月 26 日
第 29 号議案	平成 30・31 年度使用の小学校用「特別の教科 道徳」の教科用図書の採択について	承認	平成 29 年 7 月 26 日
第 30 号議案	要保護・準要保護の認定について	承認	平成 29 年 7 月 26 日

8 その他教育長または会議において必要と認めた事項

■次回定例教育委員会の予定

日時：平成 29 年 8 月 22 日（火）午後 3 時より

会場：裾野市役所 402 会議室

9 その他

(1) 学校教育課報告

説明者：学校教育課長

生徒指導状況について

<質疑・意見等>

委 員

担任の先生が出張中で支援員の先生だけで対応された件では、保健室での処置や保護者への連絡もしなかったとのことですが、他の先生への報告はしなかったのでしょうか。特に頭部等を打ちますと、その場では何ともなくても後から吐いたりといった怖い部分もあると思いますので、他の先生にもご相談とか、何かそういうことが必要であったのではと思います。

事務局

その通りだと思います。学校の中では、首以上の怪我については、ちょっとしたことでも連絡をきちっとして、勿論保護者にも必ず伝えるといった各学校の緊急マニュアル、対応があります。しかし、今回の件ではその点につきまして支援員と上手く連携が図れませんでした。つきましては、講師、支援員にも、その点を十分周知し、このようなことが起きないない対応をするように学校には伝えております。

(閉 会)

風間教育長 以上をもちまして、7月度定例教育委員会を閉会します。